

イライラや不安はなぜ起こる？ 脳がつくり出す困り事

頭部のケガや病気によって高次脳機能障害の後遺症が残った方が再び地域生活を送られるにあたって、ご本人やご家族はさまざまな不安を抱えておられる現状があります。特に感情コントロールの不良は、社会生活が難しくなる大きな要因の一つです。

今回の研修では、精神科医として高次脳機能障害の臨床に従事されている先崎 章 先生（東京福祉大学）をお招きし「脳の仕組みと感情コントロール」についての講演と納谷 敦夫 先生（なやクリニック高次脳機能外来・生活リハビリテーション医）から「高次脳機能障害と地域生活での困り事」についての講演と当事者を交えての対談をいただきます。

[プログラム]

第1部 「精神疾患・高次脳機能障害はどう違うのか？ その仕組みと対応について」

講演 先崎 章 先生
（東京福祉大学 教授・埼玉県総合リハビリテーションセンター神経科）



第2部 「高次脳機能障害を理解する ～地域での支援と課題～」

講演 納谷 敦夫 先生
（なやクリニック 副院長・生活リハビリテーションセンター嘱託医）
報告 「当事者として、私がイラっとするとき」



先崎 章 先生（精神科医・東京福祉大学社会福祉学部 教授）

埼玉県総合リハビリテーションセンターにて高次脳機能障害支援普及事業に従事し、関係書籍なども多数執筆

納谷 敦夫 先生（精神科医・なやクリニック副院長・生活リハビリテーションセンター嘱託医）

大阪府において医療福祉行政に従事した後、平成19年より「なやクリニック 高次脳機能外来」を開設

[日 時] 平成29年11月12日（日） 13:45～16:30 （開場 13:15）

[会 場] 堺市総合福祉会館 6階 ホール

[参加費] 無料

[定 員] 300名

《《お申し込みについて》》

<お申し込み方法>

チラシ裏面の参加申込書に、申込者名・所属・ご連絡先を記入の上FAXにてお申し込みください

<お申し込み先>

堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター

FAX:072-243-0202

<問い合わせ>

堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター

TEL:072-275-5019

申し込み締め切り
平成29年10月27日（金）

※要約筆記あり。手話通訳の必要な方は申込用紙に記入してください。

平成29年度 堺市高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業

『イライラや不安はなぜ起こる？ 脳がつくり出す困り事』

参加申込書

【申込先】 FAX 072-243-0202

堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター
別府・正田 宛

| | |
|---|-------------------|
| 住 所 | |
| T E L | |
| F A X | |
| 所属機関名 (支援者の場合) | |
| お名前 | 該当するものに○をお着け下さい |
| ふりがな | |
| 1. | 当事者・ご家族・支援者(職種:) |
| ふりがな | |
| 2. | 当事者・ご家族・支援者(職種:) |
| ふりがな | |
| 3. | 当事者・ご家族・支援者(職種:) |
| 研修会参加にあたってのご要望等ありましたら、お書きください。 | |
| 手話通訳の必要な方はチェックしてください→ <input type="checkbox"/> 必要 | |

※当日午前10時時点で、大阪府全域に特別警報、暴風警報、大雨警報が発令されている場合、中止とさせていただきます

※平成29年10月27日(金)までに、
FAXにて、申し込み先までご送付ください。

※参加希望者が複数名おられる場合は、優先順位の
高い方から順番にご記入ください。応募者多数
の場合は、調整をさせていただく場合があります。
※ご来場には公共交通機関をご利用ください。

